

令和5年度

大海小 学校だより

1月号

おおみ

令和6年1月9日

校長 香林 直晴

新しい年を迎えて

新年早々に大きな地震が起こりました。被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます。能登を中心に、多くの住宅の被害、土砂災害等、依然手つかず状態の箇所も多く、悲惨な状況を目の当たりにした時は、驚きとともに恐怖を感じました。と同時に、ご自宅あるいは避難所で当日の夜を過ごされた地域の皆様の恐怖は、想像を絶するものだったと思います。しかし、あれだけの被害でしたが、大海小校区では人的被害がなかった（と聞いています）ことは、奇跡的で正に不幸中の幸いだったようにも思いました。校舎も大きな被害はなく、これまで通りの学校生活を送れます。ただ、まだ余震が続いている状況です。学校でも安全行動を呼びかけていきますが、ご家庭でもお話しいただければと思います。

今年、大海小学校は創立150周年という大きな節目を迎えます。本校1階の廊下には、これまでの卒業生の写真が展示されていて、凛とした表情で写っている写真からは、一生懸命に学習に励んだり友達との絆を深めたりしてきた卒業生たちの歴史を感じることができません。たくさんの卒業生を送り出し、地域から愛されてきた大海小学校が今後もますます信頼され愛される学校になりますよう精いっぱい努めてまいります。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

さて、子どもたちは14日間の冬休みを事故なく過ごし、(安否確認にご協力いただきありがとうございました)元気に3学期初日を迎えることができました。静かだった校舎に子どもたちの姿と声が戻り、いつもの賑やかな学校生活が始まったことを今まで以上に大変嬉しく思います。始業式では、一人ひとりの引き締まった表情から、「今年も頑張るぞ。」という意気込みが伝わってきました。年が改まれば心も改まります。新しい年を迎え、自分自身の行動や考えを見直すよい機会にしたいと思います。

早いもので、6年生は3月15日(金)の卒業式、1~5年生は3月22日(金)の修了式まで、あと2か月余りとなりました。それぞれの目標に向かい、一日一日を大切に、友達と仲良く、楽しい学校生活を過ごしてほしいと思います。ご家庭におかれましても様々な機会を捉え、励ましの言葉をかけていただきますよう、よろしくお願いいたします。

また、新型コロナウイルスの感染状況は落ち着いてきましたが、代わってインフルエンザが流行しています。これまで同様、感染対策にご協力いただきたいと思います。

1月の生活目標・・・『気持ちの良いあいさつをしよう』

1月は、様々な場面で、自分からあいさつができることを目指します。気持ちよく「自分から」「相手の顔(目)を見て」「だれにでも」ができるように取り組みます。なかよし班での朝の挨拶運動『元気いっぱいあいさつウィーク』(1月11日(木)~18(木))期間中は、『あいさつ名人』が、お昼の放送で発表されます。ご家庭でも地域でも、自分から積極的に挨拶ができていたら褒めてあげてください。きっと励みになります。



1月の学習目標・・・『カーネーション言葉を使おう』

聞き手を意識した話し方ができるように、また話し手に反応しながら聴けるようにカーネーション言葉「～か。～ね。～しよう。」を積極的に使うことに取り組みます。初めはよくわからないかもしれないので、具体例を示しながら、「～を見たことがありますか。」「～に～と書いてありますね。」など、自然に発言の中で使えるようになることを目指します。

